

小学生剣士が大活躍 香取郡市小学生個人錬成大会

8月23日④に開催された「香取郡市小学生個人錬成大会」において、町内の剣道団体「剣神会」に所属する児童が各学年の部で優秀な成績を収めました。特に低学年・中学年の部では、優勝者をはじめ、複数の入賞者が出る快挙となりました。また、11月に開催される千葉県地区連盟対抗戦には、下川琉聖さん、井上栞那さん、加藤希乃花さんの3名が香取郡市代表として選出され、今後の活躍がさらに期待されます。



【大会結果】

〈低学年の部（1・2年）〉

優勝 加藤希乃花（1年）
準優勝 高柳 侑那（1年）
3位 村田 顕洸（2年）

〈中学年の部（3・4年）〉

優勝 下川 琉聖（4年）
準優勝 高柳 洋成（4年）
3位 鹿俣 旺輝（4年）
3位 酒井 美空（4年）

〈高学年の部（5・6年）〉

3位 井上 栞那（5年）
3位 加藤希乃花（5年）

合併70周年記念 昭和100年で振り返る神崎今昔／ なんじゃもんじゃいきいき発酵フェスティバル

なんじゃもんじゃいきいき発酵フェスティバルは、昭和63年から続いている神崎の産業祭です。毎年11月23日（勤労感謝の日）に開催され、かつては町役場駐車場で、現在は神崎ふれあいプラザを会場として開催されています。過去には映画上映会やサンマの無料配布など多彩な企画が行われ、現在も、地元農産物の販売をはじめ、健康増進イベント、歌謡ショー、もちまきなど、地域と一体となったにぎやかなイベントが展開されています。また、発酵をテーマにした特産品の販売や、体験講座なども充実しており、神崎町ならではの発酵文化の魅力を存分に味わえる機会となっています。



▲昭和63年開催の様子



▲令和6年開催の様子

～神崎歴史巡り～

神崎自然遺産 オハツキイチョウ

神崎ふれあいプラザの一角に、樹齢100年を超えるイチョウの木があります。この木は「オハツキイチョウ」と呼ばれ、葉に直接実をつけるという珍しい特徴があり、秋になると葉に直径2～3センチほどの実をつけます。神崎のオハツキイチョウは、実をつける葉が普通の葉より幅が狭くなる傾向があります。

イチョウ類はペルム紀に出現し、約1億5千万年前に広く分布していましたが、現在ではイチョウ一種となっています。イチョウはシダ植物に近い原始的な生殖、主脈を持たずに二股分岐する葉脈など古い形質を維持しているため、生きた化石ともいわれています。

神崎のオハツキイチョウは明治33年（1900）、神崎小学校の改築を記念して地元有志により植えられたもので、昭和40年（1965）に県の天然記念物に指定されました。



▲神崎オハツキイチョウ